

科目番号	科目名	担当者名	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次
37101	レクリエーション論 Recreation theory	山口 榮三	専門	2	選択	1・2年 前期
<b>科目の概要</b>						
少子高齢社会の日本社会において活躍を期待されるレクリエーション・インストラクター(以下「レク・インストラクター」)はレクリエーション「市民サービス事業」を推進する人材として期待されている。21世紀の社会とレクリエーション運動の役割、レクリエーション支援とその方法を基礎理論の中心におきながら、インストラクターとして必要なコミュニケーション技能について考察し講義及び支援実習を行う。また、レク・インストラクターを目指す人に最新情報も併せて提供する。						
<b>学習・教育内容</b>			<b>達成目標</b>			
① レクリエーション(以下「レク」)の考え方を学ぶ。 ② レクの歩みを学ぶ。 ③ レクの展開状況を学ぶ。 ④ レクの企画方法を身につける。 ⑤ レクの援助方法を身につける。			① レクの考え方を簡潔に発表・説明ができる。 ② レクの歩みを簡潔に発表・説明ができる。 ③ レクの展開状況を簡潔に発表・説明ができる。 ④ レクの企画ができる。 ⑤ レクの支援ができる。			
<b>学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素</b>		<b>学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例</b>				
前 に 踏 み 出 す 力	主体性	今回の授業内容について、テキストの該当箇所や関連する内容を確認し、予習をした。				
	働きかけ力	グループワークなどのチームで話し合っって課題を解決する時、意見がでるように積極的に働きかける。				
	実行力	授業において、成績、知識・技術の習得に向け、どのように取り組むかの目標を持っている。				
考 え 抜 く 力	課題発見力	科目に対して、どのような姿勢で取り組んだらよいかを考え行動する。				
	計画力	授業の成果を上げるため、自分の学修計画を立てることができる。				
	創造力	「私ならこう考える」「このようにした方が良い」と、発想する習慣をつける。				
チ ム で 働 く 力	発信力	相手が自分の話しを正しく理解しているかどうか、相手の反応を見て、状況に合わせて話せる。				
	傾聴力	話を聞く時は、うなずきやあいずちをしながら聞く。				
	柔軟性	立場によって、意見や考え方が違うということを理解し対応できる。				
	状況把握力	自分以外にも質問や意見のある人がいることに配慮した。				
	規律性	指示やルールが曖昧になった時は、自分の解釈で進めず必ず確認する。				
	ストレスコントロール力	ストレスを自己の成長のチャンスだと捉えることができる。				
<b>テキスト及び参考文献</b>						
テキスト:「レクリエーション支援の基礎」日本レクリエーション協会編(日本レクリエーション協会発行本体2,000円)を使用する。 参考文献:必要に応じて適宜紹介する。						
<b>他科目との関連、資格との関連</b>						
他教科との関連:レクリエーション実技の授業を履修すること。 資格との関連:レクリエーション・インストラクター 保育士 幼稚園教諭						
<b>学修上の助言</b>			<b>受講生とのルール</b>			
・配布プリントや資料は講義ノートに合わせてまとめておくこと。 ・覚えることが多いので、テキストにある練習問題にチャレンジし内容を整理してほしい。 ・欠席はしないこと。 ・授業を欠席したら、欠席分の課題をレポートにまとめて提出すること(必須)。			・授業中の私語は慎み、積極的に授業に参加すること。 ・配布プリントや資料は講義ノートに合わせてまとめておくこと。 ・レク財を知るために、インターネットやメディア情報など、積極的に情報収集する意欲を持ってほしい。			

【評価方法】

評価方法	評価の割合	達成目標	各評価方法、評価にあたって重視する点、評価についてのコメント	
筆記試験	50	①	✓	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業で学習した内容が理解されている。</li> <li>・問題を的確・適切に捉えられているか。</li> <li>・重要な点を把握しているか。</li> <li>・自身の見解を論理的な文章で論じているかを評価する。</li> <li>・誤字・脱字はないか。</li> </ul>
		②	✓	
		③	✓	
		④		
		⑤		
小テスト	10	①	✓	・毎回の小テストの点数を平均して判定する。(各テスト10点満点) ① 授業で学習した内容の理解度を確認する。 ② 穴埋め問題と、択一形式問題を中心に出題する。 ・出題範囲は、各時点までの授業で学習した内容とする。
		②	✓	
		③	✓	
		④		
		⑤		
レポート	10	①	✓	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業で学習した内容が理解されている。</li> <li>・問題を的確・適切に捉えられているか。</li> <li>・重要な点を把握しているか。</li> <li>・自身の見解を論理的な文章で論じているかを評価する。</li> <li>・誤字・脱字はないか。</li> </ul>
		②	✓	
		③	✓	
		④		
		⑤		
成果発表 (口頭)	10	①	✓	<ul style="list-style-type: none"> <li>・プレゼンテーションの論理性・明瞭さを評価する。</li> </ul>
		②	✓	
		③	✓	
		④		
		⑤		
作品 (企画内容)				
社会人基礎力 (学修態度)	10	①		(主体性): 能動的な受講態度を評価する。(ポイントを的確に把握理解した支援実技等) (実行力): 失敗を怖れず、やってみようとする果敢さを持って、取り組むことができる。 (課題発見能力): 現状を正しく認識するための情報収集や分析ができる。 (創造力): 従来の常識や発想を転換し、新しいものや解決策を作り出すことができる。 (発信力): 支援実技の内容・意味を自分なりに十分に理解して支援している。発表の仕方を工夫してわかりやすく発表できる。 (傾聴力): 相手の話を素直に聞くことができる。 (規律性): 受講態度(遅刻、欠席、学習意欲欠如、課題やその他の提出物の未提出、グループ活動への非協力など)が見られる場合は減点する。
		②		
		③		
		④		
		⑤		
その他	10	①		<ul style="list-style-type: none"> <li>・欠席は1回につき1ポイントの減点判定となる。</li> <li>・欠席レポートの提出(1回提出1ポイント)</li> </ul>
		②		
		③		
		④		
		⑤		
総合評価・割合	100			定期試験 50%、レポート 10%、小テスト 10%、成果発表 10%、学修態度 10%・その他 10%

【達成目標の目安】

達成レベル A(優)の目安	達成レベル B(良)の目安
上記の【評価方法】の内 90%以上を満たす場合を A(優)とみなす目安とする。 ・授業で学習した内容の理解度が優れている。(55%) ・自身の見解を優れて論理的な文章で論じている。(5%) ・発表が優れて論理的である。(10%) ・優れて能動的な受講態度であること。(積極的で、ポイントを的確に理解した発言、発表等)(10%) ・発表、発言等に優れて創造性、独自性がみられる。(10%)	上記の【評価方法】の内 70%以上を満たす場合を B(良)とみなす目安とする。 ・授業で学習した内容の理解度が良い。(50%) ・自身の見解を論理的な文章で論じている。(5%) ・発表が論理的である。(5%) ・能動的な受講態度であること。(積極的で、ポイントを的確に把握理解した発言、発表等)(5%) ・発表、発言等に創造性、独自性がみられる。(5%)

回数	学習・教育内容	授業の実施方法	達成レベルC(可)の目安	予習・復習	時間(分)	能力名
1回 /	レク・インストラクターとは何か、何を学習し、どのような技能を習得するのかを確認する。	講義	シラバスを理解ができている。	(予習)シラバス理解。 (復習)講義のまとめ	180	規律性
2回 /	21世紀はどのような社会に変化するのか 21世紀の社会の課題や問題に対してレク運動の果たす役割を考察する。	講義と 質疑応答 グループ 討議	内容を理解し重要なポイントが、わかりやすく発表・説明ができる。	(予習)テキストの該当範囲を理解する。 学修計画を立てる。 (復習)講義のまとめ。	180	計画性
3回 /	レクの意味とレク運動歴史を学ぶ。 ・中世、レクは大学の「休み時間」だった?! ・Recreation=戦前は「厚生」と訳された。	講義と 質疑応答	内容を理解し重要なポイントが、わかりやすく発表・説明ができる。	(予習)テキストの該当範囲を理解する。 (復習)講義のまとめ	180	主体性
4回 /	レク支援の展開と方法を学ぶ(1) ・A-PIE プロセスを学び理解をする。 ・小テストの実施①	小テスト 講義と 質疑応答	小テストが 60%以上理解できる。	(予習)テキストの該当範囲を理解する。 (復習)講義のまとめ。	180	主体性
5回 /	レク支援の展開と方法を学ぶ(2):レク運動は社会の課題と結びついていることを認識した上で、レク・インストラクターに求められる役割を考える。課題レポートを実施①。	講義と 質疑応答	内容を理解し重要なポイントが、わかりやすく発表・説明ができる。	(予習)テキストの該当範囲を理解する。 (復習)講義のまとめ	180	主体性
6回 /	レク支援の目標と理念:レク支援が個人や地域社会にとって、どのような価値や意義があるのかを考察する。小テストを実施②	講義と 質疑応答	内容を理解し重要なポイントが、わかりやすく発表・説明ができる。	(予習)テキストの該当範囲を理解する。 (復習)講義のまとめ。	180	主体性
7回 /	レク組織の運営論(1):市町村レク協会の大きな課題は「クラブ」育成である。そのクラブの誕生と運営について考察する。	小テスト 講義	小テストが 60%以上理解できる。	(予習)テキストの該当範囲を理解する。 (復習)講義のまとめ	180	発信力
8回 /	レク組織の運営論(2):今後レク・インストラクターとして所属する各市町村レク協会の目的や活動内容運営方法を理解する。	講義と 質疑応答	内容を理解し重要なポイントが、わかりやすく発表・説明ができる。	(予習)テキストの該当範囲を理解する。 (復習)講義のまとめ	180	発信力

能力名:①主体性 ②働きかけ力 ③実行力 ④課題発見力 ⑤計画力 ⑥創造力 ⑦発信力 ⑧傾聴力  
⑨柔軟性 ⑩状況把握力 ⑪規律性 ⑫ストレスコントロール力

回数	学習・教育内容	授業の実施方法	達成レベルC(可)の目安	予習・復習	時間(分)	能力名
9回 /	レク財とは:豊かな指導力とは対象や指導場面に適したプログラム提供にある。レク財について考察する。小テストを実施③	講義と質疑応答	小テストが60%以上できる。	(予習)テキストの該当範囲を理解する。 (復習)講義のまとめ	180	発信力
10回 /	レクサービス論(1):「イベント」を企画・準備・運営することはレク・インストラクター技能の役割の一つである。対象者にとって魅力ある事業運営について考察する。	小テスト 講義	小テストが60%以上できる。	(予習)テキストの該当範囲を理解する。 (復習)講義のまとめ	180	計画力
11回 /	レクサービス論(2):事業は怪我や事故がなくて成功、また事業終了評価は次なる準備とされている。何を評価するのか、安全のポイントについて考察する。	講義と質疑応答	内容を理解し重要なポイントが、わかりやすく発表・説明ができる。	(予習)テキストの該当範囲を理解する。 (復習)講義のまとめ	180	発信力
12回 /	コミュニケーション・ワーク(1):レク・インストラクターは参加者が興味・関心をもって楽しいという気持ちを引き起こす方法を考察する。ホスピタリティートレーニングの体験。	演習形式の講義	グループ一員として役割を持ち、発言をする等、積極的に係ることができる。	(予習)テキストの該当範囲を理解する。 (復習)講義のまとめ	180	発信力
13回 /	コミュニケーション・ワーク(2):レク・インストラクターは自己の性格を十分に理解してセルフコントロールが大切。コミュニケーショントレーニングの体験。レポートを実施②。	演習形式の講義	グループ一員として役割を持ち、発言をする等、積極的に係ることができる。	(予習)テキストの該当範囲を理解する。 (復習)講義のまとめ	180	発信力
14回 /	コミュニケーション・ワーク(3) 集会やイベント等で人が集まる場で、人と人が和やかに知り合うための方法であるアイスブレイキングを学ぶ。小テストを実施④	演習形式の講義	小テストが60%以上できる。	(予習)テキストの該当範囲を理解する。 (復習)講義のまとめ	180	主体性
15回 /	まとめ:レク・インストラクターの基礎理解について総括しまとめを行う。 まとめレポート作成	講義と質疑応答	重要なポイントが整理され、わかりやすくまとめ発表・レポート作成ができる。	(予習)テキストの該当範囲を理解する。 (復習)講義のまとめ	180	主体性

能力名:①主体性 ②働きかけ力 ③実行力 ④課題発見力 ⑤計画力 ⑥創造力 ⑦発信力 ⑧傾聴力  
⑨柔軟性 ⑩状況把握力 ⑪規律性 ⑫ストレスコントロール力